

秋色の小江戸 佐原にフ。千旅行



江戸時代、利根川の水運で栄えた歴史を今に伝える「小江戸 佐原」。小野川沿いの町並みには、創業数百年を誇る老舗が軒を連ねています。伝統の中にかわいらしさ、お洒落心が詰まった雑貨や、佐原ならではのグルメもいっぱい。10月10日・11日・12日には、盛大に秋祭りが行われます。パワースポットとして知られる香取神宮も、ぜひゆっくりお参りしてみたい…。秋の1日、見どころ・味わいどころ満載の佐原を、小旅行気分で訪ねてみませんか。



香取神宮

御祭神は“国譲り”の神様
パワースポットとしても人気

赤い鳥居をくぐると、森の中に玉砂利の道が続きます。階段もなく、森林浴しているような心地よさを味わいながらゆっくり数分歩くと、鳥居が見えてきます。階段を少し上り、総門を経て右へ折れると朱色の見事な楼門が。その先が拝殿・御本殿です。

最近では、パワースポットとしても大人気。樹齢千年以上と言われる御神木(幹周り7m以上の杉の木)、要石地震を治めるため地中の大なまずを刺し通した石棒の一部と言われています)、境内を囲む森の中にある神池……いろいろなところからパワーをいただけそうです。

こんにちは！
佐原っ子のにゃん吉
です！



佐原の猫で一番有名なボクが、レトロで新しい佐原の魅力をご案内するにゃ！

「佐原張子」って知ってる？
佐原張子は、千葉県伝統的工芸品。鎌田清太郎って人が明治40年代に作り始めて、大正7年に「三浦屋」として創業したんだ。ぼくのお父さんの鎌田芳朗さんは、清太郎さんのお孫さんだよ。

拝殿・御本殿



じつと見ちゃうにやー



昨年の改修工事で檜皮葺(ひわだぶき)屋根が葺き替えられ、漆と金箔が塗り替えられた。細部までよく見るといろんな発見がある。



楼門

春が桜なら秋は紅葉。カエデやイチョウが、境内を鮮やかに染め上げる。そして地面に、赤や黄色のじゅうたんを敷き詰める。



パワーをもらって、神話も一通りあさえたら、お守りを身に付けておだんごを食べて厄落とし。これで完璧だにゃ！



門前名物「草だんご」



名物の厄落としだんごで
ほっとひといき

門前には名物の厄除草だんごのお店があるので、お参りの後の小腹を満たすのにぴったり。おいしくて厄落としもできるのだから、一石二鳥。

願いを込め、あの人にも

かわいらしいお守りがいろいろあるので、選ぶのも楽しい。



御祭神は

明治以前に「神宮」の称号が与えられていたのは、香取と鹿島と伊勢だけでした。このことから、その格式の高さが伺えます。御祭神は、国譲りの神話に登場する経津主大神(ふつぬしのおおかみ)。天照大神の命により、鹿島神宮の御祭神である武甕槌大神(たけみかづちのかみ)とともに出雲の国に赴かれ、国譲りを成功させました。

秋の小江戸佐原を盛り上げる
お祭りに出かけてみよう!

佐原の大祭 秋祭り

10月10日・11日・12日



山車の前では手踊りが披露される。女性達の踊りが、お祭りを華やかに演出する。



佐原では、夏と秋の2回大きなお祭りが行われ、両方合わせて「佐原の大祭」と呼ばれています。300年くらい前から続いていて、国の重要無形文化財にも指定されている有名なお祭りです。何と言ってもすごいのが、歴史上の人物をモデルにした4~5mもある大きな人形。これが4mくらいの山車の上に飾られるので、頭の位置は見上げる高さ。その山車が狭い路地を練り歩くのだから迫力満点です。佐原囃子(これも国の重要無形民俗文化財)の響きが、勇壮な中に祭りらしい情緒を演出します。

秋祭りでは、14台の山車が登場するにや。11日の11時頃から勢揃いして街中を巡る様子はホントに壮観! 10日と12日に随時行われる、山車を「の」の字を書くよう回す「のの字回し」もすごい迫力なんにや。



ビックリ!
お人形も全部違うにや!
みんな本気にやっ!
!

佐原と言えば
香取神宮、町並み、祭り、
そしてこの人

いのう ただたか 伊能忠敬

商人としての仕事を全うし、50歳を過ぎてから専門的な勉強をして、それから日本各地を測量して歩き、最初の実測日本地図を作り上げたというすごい人。伊能忠敬記念館では、その生涯と業績を知ることができる。9月30日(火)~11月24日(祝)、「伊能忠敬の明治一幻の大日本沿海輿地全図」を開催。日本の近代化の中で忠敬の地図が果たした役割を紹介する。



忠敬の唯一の肖像画。孫の忠誨(ただのり)が書いたと伝えられる(上)。



忠敬の使用した器具の一つ。測領地の緯度を求めるために北極星などの高度を観測した(左)。ともに、伊能忠敬記念館蔵。

【伊能忠敬記念館】
香取市佐原イ1722-1
☎0478-54-1118 9:00~16:30
月曜(祝日は開館)・年末年始休館
入館料500円・小中学生は250円

秋祭りは諏訪神社の祭礼



小野川より西側の新宿地区の鎮守の神様。普段は静かなたたずまいを見せている。拝殿までの階段のぼりは、ちょっとした運動になりそう。



山車をゆっくり見るなら 山車会館

小野川沿いの町並み近く、八坂神社の境内にある山車会館では、常時2台の山車を展示(祭り期間中は1台)。その威容を堪能でき、2階フロアから人形の顔を間近に見ることもできる。他関連資料多数あり。9:00~16:30 月曜(祝日は開館)・年末年始休館
入館料400円・小中学生は200円 ☎0478-52-4104

レトロな町を ぶらり味わう

今も昔も女性の好きな
お洒落和物がいっぱい

福新呉服店

ふくしんごふくてん

香取市佐原イ505
☎0478-52-3030
9:30～17:30
水曜休



江戸時代の半ば過ぎ、1804年からこの地で呉服屋を営んできた。伝統の中にもお洒落心がいっぱい詰まった和小物が、女子心をくすぐる。江戸時代の型紙を使った手染めの「小江戸手ぬぐい」1,300円(税込)は、江戸小紋の繊細な模様がキレイでどれもほしくなってしまう。



震災のときに屋根から落ちなかつた瓦の一部を小さな巾着袋に入れた「幸運のお守り瓦」(佐原おかみさんが考案)350円(税込)も心引かれる。



代々受け継がれてきた和ダンスなどもあって、歴史を感じる。



和小物いっぱい！
遊びに来てね！



乙女のぶらりには欠かせない、
おいしいものとかわいいう小物を
小江戸情緒たっぷり
小野川沿いで見つけましょ

レトロ調の古民家で
洋の美味を満喫しよう！

ワーズワース

わーずわーす

香取市佐原イ491-1
☎0478-50-0202
11:00～22:00
水曜休



築百数十年の古民家風の建物の中でいただく、パスタやピッツァ、フランス惣菜の数々。黒板にはおススメメニューがびっしり書き込まれ、迷ってしまう。通うしかないかも。

わくわくをたくさん
見つけるにやー



たっぷりの野菜と新鮮なサンマがさわやかな「酢メサンマサラダ」550円(税別)。

とろける柔らかさのホロリほどける肉がうれしい「和牛スジ肉の煮込み」600円(税別)。



薫り高いチーズとナスの相性が抜群の「秋ナスと玉子のチーズ焼き」700円(税別)。



小野川沿いの明るいテラスで秋の味覚に舌鼓。



小野川沿いの町並みを訪ねると、本当にびっくり。1軒あるだけでも話題になりそうな昔ながらの商家がずっと並んでいて、まさに「江戸の町並み」です。それも、「昔の建物」として保存されているんじゃないかと、お店として営業しています。創業何百年という店がこんなに1か所に集まっているとこなんて他にある？ と思ってしまう。

お店に入ると、元気のいいおかみさん、きさくなご主人が迎えてくれます。みなさんお店や商品に誇りと愛着を持っていますから、お話を聞いていると尽きません。老舗の自慢話とかじゃなくて、本当に感心してしまうことばかり。1軒のお店で過ごす時間が長くなってしまいます。

昔からずっと人気の商品には、今見ても素敵なもの、かわいいものがいっぱい。江戸時代の女性達もこれを身に付けてお洒落を楽しんだのかと思うと、遠い昔の知らない人に親しみがわいてくるようです。もちろん、新しく考えられたものや、今だから作れる品もあります。

おなががすいたら、伝統の味もあれば、レトロな雰囲気の中で楽しめるイタリアンやスイーツも揃っているの、あれこれ迷ってしまうそう。

秋の1日、すぐ近くにある「佐原の町並み」で江戸時代にタイムスリップして、非日常気分になりながら、キラリと光る「お気に入り」を探してみませんか。



おいしいスイーツで
パワー充電にゃ!

ゆったりとした
時間のなかでほっこり

甘味喫茶 いなえ inae

かんみきさ いなえ

香取市佐原イ 511
☎0478-54-7575
10:30~17:00
水曜休



佐原の「佐」をほどいて「イ・ナ・エ=いなえ」。天井が高く開放的な店内に木の温もりがあふれている。地元産食材にこだわったあわせんざいやあんみつ、うどんなど、やさしい味わいのメニューにほっこり。佐原ならではの品を揃えたショップ、音楽会や絵画展を随時開催している土蔵と洋館のギャラリーもぞいてみたい。



お店のおすすめ、優しい甘さが心と体を和ませてくれる「あわせんざい」700円(税別)。



震災で落ちた古い瓦や土蔵の基礎部分に使われていた銚子石を配した中庭を眺めながら、ひととき思いにふけるのもよさそう。

昔ながらの入口から一変、中庭は洋の雰囲気。

人気メニューのひとつ「おうどんミニあんみつセット」には手作り豆寒天がついている。写真は「カレーうどんセット」1,100円(税別)。



さりげない雑貨に込められた
職人の技を堪能

植田屋 荒物店

うえだやあらもてん

香取市佐原イ 1901
☎0478-52-2669
9:00~17:30
無休



忠敬橋のたもとにある、創業250年の荒物店。現在の当主は8代目になる。ザルやカゴ、はし、亀の子たわし、曲げわっぱなどの日常雑貨それぞれに職人の技が光り、思わず感心。使い勝手に優れ、長く使える逸品だ。店の奥には明治初年に建てられた土蔵があり、重厚なたたずまいの中に和小物や漆器、便箋、手ぬぐい、下駄などが並ぶ。実用性はもとよりどれも素敵なデザインで、一つ一つ手に取ってみたい。



高い天井や黒光りする存在感のある黒い梁に圧倒される。

ぷらぷら
小江戸散歩で見つけたよ!



マンホールのふたが
あしゅれだね!



こちらは震災時に落ちてしまった瓦に、佐原を訪れた人たちが残してくれたメッセージ



飼い主さんのセンスが
光る! 旅支度ぱっちり
なお散歩わんこ発見



中村屋さんで
見つけた「ねころんメガネホルダー」
780円(税込)

小野川沿いには
わくわくのお店がいっぱいだ
にゃ! ぶらり訪れるの
にはちょうどいい
コースなんだにゃ♪



おなかぽっこり
大満足だにゃ

小堀屋 本店

こぼりやほんてん

香取市佐原イ 505
☎0478-52-4128
11:00~16:00 水曜休



もともと醤油造りをしていたが、1782年、そば屋に転業したと伝えられる。伊能忠敬は当時30代で家も近くだったから、食べにきていたかもしれない。昆布を加工して練り込んだ黒切蕎麦は、そのころからの看板メニュー(現在1,000円で提供)。家宝の秘伝書に、その作り方が書かれているという。12月には、柚子皮を練り込んだ柚子切蕎麦が季節限定で登場。2階建ての店舗部分は明治25年に江戸期の様子を再現して建てられた。

江戸時代から続く名物、
黒いそば



老舗から新店舗まで、一軒一軒ゆっくり訪ねたいお店が勢揃い

小江戸のおみせめぐり



「ごま油で作ったラー油」
45g400円(税込)→③

長い伝統を誇る「本当によいもの」、そしてその伝統を生かして生まれた「新しい名物」。佐原には、思わずほしくなってしまう、お土産にもぴったりの逸品がいっぱい！

巨大なもなか！
食べきれるかな？



ビッグサイズの栗もなか
「大栗」2個770円(税込)
※「小栗」1個175円も
あります→④



マカロンのような小さな
もなか「ひとくちもなか」
(つぶあんとうずあんあり
／写真はゆず)
1個45円(税込)→④



レーズンサンド
「香取いなカトリーナ」
1本216円(税込)→①

「大吟醸 海舟散入」
720ml(右) 3,560円、
「最上白味醂」
720ml(左) 1,210円
(各税込)→⑤



化粧水も
是非試して！

「二人静化粧水」1,360円、
「吟醸 二人静」720ml
1,480円→⑥
(各税込)



ビートルズで熟成「純かすてら」
1本1,500円(税別)→②



ふわふわ食感の「はんじゅく地い図」
5個648円(税込)→①

①ほていや本店／☎0478-52-2001 お土産にもぴったりのケーキや焼き菓子が勢ぞろい。②八木清商店／☎・FAX 0478-55-2933 少量限定生産なので事前予約を(FAXで名前・電話番号・本数を)。③油茂製油／☎0478-54-3438 創業350年のラー油・ごま油の専門店。④柏屋もなか店／☎0478-52-3707 昭和2年から作り続けている最中は絶品。⑤馬場本店酒造／☎0478-52-2227 日本酒はもちろん、みりんも人気の老舗酒蔵。⑥東薫酒造／☎0478-55-1122 190年余りの歴史と伝統を誇りに酒造り一筋。

【町並みガイド】

1時間～1時間半程度(昼食を挟まない時間帯)。コースなど相談可。無料。予約制(10日前までに)。NPO法人小野川と佐原の町並みを考える会主催。申込／☎0478-54-7766＝佐原町並み交流館

【小野川舟めぐり】

小野川沿いの町並みを水上から観光。10月・11月は10:00～15:30の間運行。所要時間約30分。大人1,300円・小学生700円。問合せ／☎0478-55-9380＝ぶれきめら

【佐原きもの美人】

着物で佐原の町並みを楽しめる企画。着物レンタル一式・着付け・ヘアセットで6,000円。協力店での割引が受けられる「まぢめぐりパスポート」など特典あり。着物を着て参加の場合は1,000円。1か月前から受付(できれば事前に申込を)、火曜日と第1・3水曜日は除く。NPO 婆沙羅主催。申込／☎0478-52-6675＝水郷佐原観光協会

【佐原まちぐるみ博物館】

「博物館」と言っても特別な建物ではなく、佐原の伝統や文化が息づいている老舗や名店。40～50店が参加していて、自慢のお宝や代々伝わる品などを公開している。各店の女将さんやオーナーが言わば館長であり学芸員である。地元商家の女将さんたちが中心になって活動している「佐原おかみさん会」が運営。店頭の「まちぐるみ博物館」と書かれた看板が目印。

佐原の
町並みめぐり

お役立ち
ガイド



ガラスのネックレス(ブルー・オレンジ)各3,024円
りんごのネックレス3,240円
きのこのピアス1,944円(各税込)→7



使い心地が断然違います
職人手作りの耳かき
3,000円(持ち手が太い
ものは5,000円)(税込)
→8

中村屋オリジナル
佐原囃子 福鼓
750円(税別)
→10



山車ミニチュアフィギュア(左から)
小野道風、源頼義、天鈿女命、他もあり
各900円(税別)→10

佐原焼のカップ
1,500円(税込)
→9



温泉ほろ酔いカエル
1,000円(税別)→10



ブランド手ぬぐい各種
1,000円〜→10

香木とフランスの香水
を混ぜた香り。丹花
1,080円(税込)→11



使うのが
もったいない!



おりづる香立972円
(税込)→11

絵ろうソウク同柄2
本セット1,296円
(税込)→11



7 River Way 正上 / ☎0478-54-1642 「正上」は創業200年の醤油屋。佃煮も人気。自分だけのトンボ玉作りも体験できる。8 八木の耳かき / ☎090-4620-6765 紫檀や黒檀などを素材に2代目職人が手作り。その作業を店頭で見ることができる。9 酔夢館 / ☎0478-54-3433 佐原焼き・アンティークランプ・絵画が揃う。10 中村屋商店 / ☎0478-55-0028 パラエティーに富んだかわいらしい和小物がいっぱい。11 並木仲之助商店 / ☎0478-54-2585 和紙で作られた雑貨やお香など暮らしを潤してくれるアイテムがぎっしり。

【レンタサイクル】

佐原駅前観光案内所、佐原町並み交流館、水の郷さわらの各所で貸し出し。(9:00~夕方、1回300円)。この3か所では、佐原・香取の観光情報を知ることができる。

【駐車場】

佐原駅北駐車場(24時間300円、200台以上、佐原の町並みまで徒歩約20分)、伊能忠敬記念館駐車場(1回500円)、下仲町駐車場(八坂神社近く、無料、10台程度)、山車会館駐車場(山車会館見学の場合/無料)、忠敬橋近くの民間駐車場(1回550円)など。

【佐原循環バス】

土日祝日限定で1日13便運行(年末年始除く)。佐原駅発—諏訪神社—忠敬橋—水郷佐原山車会館—牧野—県立佐原病院—香取神宮。香取神宮発—水の郷さわら—水郷佐原山車会館—忠敬橋—東関戸—佐原駅。1乗車大人300円、中学・高校生100円・小学生以下・障がい者手帳所持者無料。1日フリー乗車券大人500円、中学・高校生200円。時刻表は香取市のHP参照。

※佐原の観光全般についての情報は、香取市及び水郷佐原観光協会のHPに詳細記載あり。

